

●平成7年度第1回 OR セミナー

「実践的スケジューリングの方法」

スケジューリングのシステム化は経営資源の効率的利用の観点からではなく、企業の戦略的方策として注目されています。また近年スケジューリング手法は多様化しており、その選択やシステム化は担当者にとって高度の判断を要する難しい問題になってきております。

そこで、本セミナーは実践的スケジューリング技術の体系と展望、各種のスケジューリングの手法と特徴、スケジューリングを成功に導く原理・原則、システム化の要点と留意点などについて、当該領域の専門家が事例を示しながら解説いたします。

日時：6月1日(木) 9:30~16:00

会場：東京ガス(株)本社会議室

(〒105 港区海岸1-5-20 Tel.03(3433)2111)

オーガナイザー：黒田 充 (青山学院大学)

プログラム：

9:30~10:50 実践的スケジューリングの体系

現在利用されているスケジューリング手法の分類、スケジューリング問題の特徴から見た分類、スケジューリング手法と適用対象の対応関係、スケジューリング技術の動向と課題などについて分かりやすく解説する。

黒田 充 (青山学院大学)

11:00~12:20 現場の問題と教科書の数理

ORの標準的な道具のうち、やさしくて役に立つ部分は教科書に書いてある。現場で本当に困っていることは何かは、調べないと分からない。その両者を結びつけて、役に立つスケジューリング・システムに仕立てるには、どこに注意すべきかを事例で示す

米田 清 (関東芝 研究開発センター)

13:00~14:20 制約ベース推論とその応用

ルールベース推論や数理計画手法との比較をもとに、制約ベース推論の基本的考え方・特徴を述べる。次に、上位生産計画や製造実行生産計画への制約ベース推論の適用事例を紹介し、その評価結果と、今後の課題について紹介する。

渡辺正信 (NEC C&C 研究所)

14:30~15:50 シミュレーション技法活用の生産スケジューリング支援

シミュレーション技法は生産スケジューリングシステム構築に極めて有効かつ可能性の高い技法であると組

織・科学的観点から考えられる。この技法活用にもとづくスケジューリング業務支援コンセプト、およびシステム構築にあたってのシステム具現化法について解説する。さらに適用事例を紹介する。

井上一郎 (京都産業大学)

参加費：正・賛助会員 25,000円、学生会員 5,000円、非会員 30,000円 (協賛学協会の会員は正会員に同じ)

●第34回シンポジウム

「経営効率性評価-DEA法のフロンティアと応用事例-」論文公募のお知らせ

経営効率性の評価というテーマはあらゆる事業体にとってますます重要な課題となっております。そのための手法としてDEA(Data Envelopment Analysis)への関心が急速に高まってきました。先般、FORTUNE誌が「経営者のための経済学」というページで、新手法としてDEAを紹介したこともあって、この手法への実務家の関心も高まっています。本学会では、研究部会「評価のOR」(主査：刀根 薫、幹事：上田 徹)をもうけて、この方面の研究を進めて参りましたが、本年秋の学会シンポジウムを「経営効率性評価-DEA法のフロンティアと応用事例-」というタイトルの下に開催する運びとなりました。つきましてはこのシンポジウムで発表する論文を以下の要領で公募いたしますので奮ってご応募ください。

日程：応募および原稿提出締切：5月30日

採否通知：6月25日

内容：DEAに関する理論、モデル、アルゴリズム、応用事例、関連領域、問題提起等

形式：論文作成は、「オペレーションズ・リサーチ」誌の「研究レポート」ないし「事例研究」の応募規程に準拠します。ただし、原稿の長さは刷り上がり5ページ以内[約1万字] (採用論文をもって特集号を組むことを提案中です)

発表時間：1件40分

開催日時：10月15日(日) 10:00~

会場：埼玉県県民活動総合センター(JR大宮駅からニューシャトルで羽貫駅まで約23分)

問合せ・論文申込先：成蹊大学 上田 徹

Tel.0422(37)7393 Fax.0422(37)3869

E-mail: ueda@is.seikei.ac.jp

●平成7年度秋季研究発表会

日 程：10月16日(月), 17日(火)

場 所：埼玉県県民活動総合センター(JR大宮駅からニ
ューシャトルで羽貫駅まで約23分)

特別テーマ：「ORの実施」

実行委員長：刀根 薫(埼玉大学)

発表申込締切：7月10日(月) 必着

(宛先) 〒113 文京区弥生2-4-16 学会センター
ビル3F 日本OR学会事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

- ・研究発表は申込書およびアブストラクトの提出をもって申込み受付とします。
- ・申込書等請求先：日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局(上記参照)。
- ・詳細は次号以降で順次お知らせします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

問合せ先：〒338 浦和市下大久保255

埼玉大学大学院政策科学研究科 大山達雄

Tel.048(852)2111(代)

●研究部会・グループ開催案内

・評価のOR

日 時：5月13日(土) 13:30~16:00

場 所：青山学院大学総研ビル(正門を入ってすぐ右手)
3F第11会議室

テーマと講師：(1)「フロンティアからの偏差を考慮した
DEAの加法型モデル」 須藤尚之(東京理科大学)

(2)「DEAモデルにおける入力項目改善に関する事例検
討」 矢田 健(NTT通網研)

問合せ先：成蹊大学 工学部 経営工学科 上田 徹

Tel.0422(37)7393 FAX.0422(37)3869

E-mail: ueda@is.seikei.ac.jp

・意思決定とOR

日 時：5月19日(金) 14:30~17:00

場 所：富山県職員会館会議室(富山市新桜町1-2
Tel.0764(41)4004 JR富山駅より徒歩3分)

テーマと講師：(1)「交通流のベトリネットシミュレシ
ョンの開発」 高木秀彰(金沢大学自然科学研究科)

(2)「The Reporting Time Problem」

William H. Ruckle (Clemon大学数理科学科)

問合せ先：富山大学経済学部 菊田健作

Tel.0764(41)1271 内2459

・合意形成・政策

日 時：5月20日(土) 14:00~17:00

場 所：三菱総研会議室

テーマと講師：「投票による意思決定」

武藤滋夫, 小野リエ(東北大学)

問合せ先：03(5684)3318 荻野正浩

03(3408)5211 内3226 片山隆仁

・数理計画法

日 時：5月20日(土) 14:00~17:00

場 所：統計数理研究所 3階セミナー室

テーマと講師：(1)「Solving terrain based optimization
problems using GIS and OR techniques: Case of
power-line routing」(キーワード: power-line rout-
ing, NLP model, minimum cost network flow prob-
lem, geographic information system)

Kalyan Kumar Janakiraman(日本工営株式会社)

(2)「Computer aided multicriterion optimization sys-
tem (CAMOS): its recent development and applica-
tions」(キーワード: multicriterion optimization,
optimization system, experimental design, Parato
solutions, genetic algorithm)

Andrzej Osyczka(Tokyo Metropolitan University)

問合せ先：東京理科大学 工学部 教養 矢部 博

Tel.03(3260)4271 内3560, 3545

Fax.03(3260)0322 E-mail: yabe@jpnst.20.bitnet

統計数理研究所 予測制御研究系 伊藤 聡

Tel.03(3446)1501 内553 Fax.03(3446)1695

E-mail: sito@ism.ac.jp

・COMのための生産計画・スケジューリング

日 時：5月25日(木) 18:30~21:30

場 所：青山学院大学総研ビル7階 第13会議室

テーマと講師：「COMと生産システムの最適化」

黒田 充(青山学院大学理工学部経営工学科)

近年における情報技術の進歩は、製造業が置かれてい
る環境を激変させており、あらゆる場面での人間の創造
性を必要としたり、旧来の組織の持つ弊害を白日のもと
にさらし始めている。新時代の製造業の総合的経営概念
であるCOM(Computer Optimized Manufacturing)に
ついて述べ、CIMとの比較を試みる。全体的最適化を指
向するCOMは生産システムの最適化の枠組みを提供し、
前述の情報技術の進歩はそのような生産システムの最適
化を現実のものにしつつある。COMに沿った生産シス
テム最適化の事例を述べる。

問合せ先：東京大学先端科学技術研究センター

西岡靖之

Tel.03(3481)4486

E-mail: nishioka@ai.rcast.u-tokyo.ac.jp

(ii)

●研究部会・グループ等の新設・継続申請審査過程について（研究普及委員会）

さきに募集を行ないました平成7年度研究部会・研究グループの新設または継続に対しては、今回も多数の申請書が提出されました。通常の研究部会、研究グループについては、活動の公開性、実績等に照らして審査を行ないました結果、以下の研究部会、研究グループを認定いたしました。

●平成7年度研究部会・グループ・特設研究部会

下記の部会・グループ（**は7年度より新設，*は常設）および特設研究部会が運営されますので，参加ご希望の方は各部会等の主査または幹事にご連絡ください。

	部 会 名	主 査	幹 事
*1	待ち行列	高橋幸雄（東京工業大学） 03(3726)1111 ex.3203	小林和朝（NEC C&C 研究所） 044(856)2316
*2	OR/MS とシステム・マネジメント	山田善靖（東京理科大学） 0471(24)1501 ex.3807	住田友文（電気通信大学） 0424(83)2161 ex.5286
3	動的計画法	小田中敏男（北海道情報大学） 011(385)4411	蔵野正美（千葉大学） 043(251)1111 ex.2428
4	システムと最適化	一森哲男（大阪工業大学） 06(952)3131 ex.3716	森田 浩（神戸大学） 078(881)1212
5	OR ソフトウェア	八巻直一（㈱システム計画研究所） 03(5489)0211	富田雅智（青山学院女子短大） 03(3409)8111 ex.3208
6	組合せ最適化	久保幹雄（東京商船大学） 03(5245)7390	関谷和之（東京理科大学） 0471(24)1501 ex.3805
7	合意形成・政策	荻野正浩（経営情報コンサルタント） 03(5684)3318	片山隆仁（防衛庁） 03(3408)5211 ex.3226
8	マーケティング・サイエンス	木島正明（筑波大学）03(3942)6856	西尾チヅル（筑波大学）03(3942)6353
9	リエンジニアング	梅沢 豊（東京大学）03(3812)2111	山下達哉（富士短期大学）03(3368)2154
10	ファイナンスのOR	古川浩一（東京工業大学） 03(3726)1111 ex.2245	枇々木規雄（慶応義塾大学） 045(563)1141 ex.3628
11	評価のOR	刀根 薫（埼玉大学）0427(22)1885	上田 徹（成蹊大学）0422(37)7393
12	OR リテラシー	高井英造（静岡大学） 054(237)1111 ex.3701	垣花京子（東京家政学院筑波短大） 0298(58)4811
13	意思決定とOR	菊田健作（富山大学）0764(41)1271 ex.2459	中島恭一（富山県立大学）0766(56)7500
**14	離散系シミュレーション	中野一夫（㈱構造計画研究所） 03(3348)0641	森戸 晋（早稲田大学） 03(3203)4141 ex.3452
**15	高校生のためのOR	若山邦紘（法政大学）0423(87)6348	田口 東（中央大学）03(3817)1683
**16	最適化モデル分析とその応用	岩本誠一（九州大学）092(641)1101 ex.3763	川崎英文（九州大学）092(641)1101 ex.4378
**17	COMのための生産計画・スケジューリング	村松健児（東海大学）0463(58)1211	西岡靖之（東京大学）03(3481)4486
**18	広域インフラストラクチャー計画に関するOR	高森 寛（青山学院大学） 03(3409)8111 ex.2402	栗田 治（慶応義塾大学） 045(563)1141 ex.3637
	グループ名	主 査	幹 事
1	日本の経営	上田亀之助（上田イノベーション研究所） 03(3351)4023	石井允夫（長野計器）
2	情報ネットワークとその活用	根本忠明（和光大学）044(988)1431	小野賢治（勸電力中央研究所）03(3480)2111
3	自動車市場の計量分析	国沢清典（東京理科大学）0471(24)1501	上田恭嗣（東京国際大学） 0492(32)1111 ex.492
**4	高度情報化社会における交通・流通	忍田和良（㈱日通総合研究所） 03(5256)2266	野末尚次（勸鉄道総合技術研究所） 0425(73)7306
特設研究部会名	主 査		
1	数理計画法研究会	茨木俊秀（京都大学）075(753)5504	
	〔幹事〕田口 東（中央大学）03(3817)1683，森戸 晋（早稲田大学）03(3203)4141 ex.3452，矢部 博（東京理科大）03(3260)4271 ex.3560，山本芳嗣（筑波大学）0298(53)5001，福島雅夫（奈良先端科学技術大），石井博昭（大阪大学）06(877)5111 ex.4672，加藤直樹（神戸商科大）078(794)6161 ex.4414，茨木智（京都大学）075(753)5514		

学会だより

●新設部会・グループ案内

[離散系シミュレーション]

待ち行列モデルを扱う離散系シミュレーションの歴史は30年以上にもなる。しかし、ここ数年その力がいかになく発揮されているといえる。しかも今後もあらゆるシステムが構築、再構築される場面では必ずといってよいほど重要なツールになるであろう。本部会では、産業界の方から応用事例、大学等の学術界の方からは、モデリングの理論的側面、あるいは統計的側面からの研究報告を行なっていただく予定である。開催は2ヵ月に1回東京で行なう予定であるが、年に1回は大阪での開催を計画中である。

[高校生のためのOR（略称：ORhigh）]

研究内容：中学、高校の数学や情報処理のカリキュラムの改訂と18歳人口の減少という社会的環境の中で、数理的、科学的な目を通しての問題解決法に興味を持ち「大学に進学したらORを勉強しよう」という高校生を少しでも増やそうという目的で、高校生にも興味を引くようなORの例題を集め、数学 and/ or 情報処理のサブテキストとして使えるものを作成する。

運営：月一度の会合を持ち、国外の事例報告、部会員による各種テーマの例題の作成、発表、議論をかきね例題の高校生向けとしての完成度を高める。

期待成果：最終的には出版という形をとるが、中間的にはOR誌の一特集として紹介することになる。

[最適化モデル分析とその応用]

場所：九州大学理学部3号館1階3110/九州大学経済部2階中会議室207

日時：毎月第3土曜日、14:00より。毎月1回、年間約7回程度。

内容：九州地方で唯一のOR研究会ということで、幅広く発表者を募ります。最適化理論、モデル分析手法、確率過程・決定過程とその応用、経済社会システム分析手法、最適制御理論とその応用、経済の情報と数理、ファジィ数理など。

[COMのための生産計画・スケジューリング]

情報技術の高度化により製造業の全体最適化を可能にする環境が整ってきた。Computer Optimized Manufacturing (COM) は製造業の全体最適化を指向する経営概念であって、この研究部会（日本経営工学会と合同）では、ORを中心に各種の方法論を駆使して、オープンシステムの視点から、生産計画・スケジューリングを研究する。月に1回（年10回、1回につき2時間）研究会を開催する。研究部会員あるいは外部の専門家が特定のテー

マ（理論、事例、概念あるいはパッケージ）について講演を行ない、その後で講師を囲んで討議をする方法をとる。成果として、情報の収集・交換・整理・体系化、さらには研究結果の産業界への普及を期待している。

[広域インフラストラクチャー計画に関するOR]

1つの地域や国を越えて、多様な集団、グループ、パーティが共用する公共的なインフラストラクチャーの計画に関連する諸問題を研究する。国内の複数の経済地域圏などにまたがって、多様な集団の利害がかかわるインフラ構築の諸計画なども研究の対象とする。新しいインフラ創造機会の発見、フィジビリティ分析、環境アセスメント、利害のコンフリクトと紛争解決のシナリオ、共通便益の評価などに関するOR研究。ハードなインフラに限らず、通信やコミュニケーション・ネットワークのシステムなどソフトなインフラの社会・産業へのインパクトの分析なども取り上げる。

研究会は、原則として、月1回。

場所は、次のいずれか。

(i) 青山学院大学会議室（渋谷区渋谷2-4-25）

(ii) GIF研究財団会議室（東京都神谷町）

海外の研究者グループとの交流やディスカッション、また共同研究などを積極的に試みる。

[高度情報化社会における交通・流通]

衛星移動体通信やインターネット等の情報ネットワークの拡大は、交通や流通の市場分野に新たな需給システムの形成を訴求している。個人や企業のサービスニーズのハイキャッチ、これへのクイックレスポンスやサービス体制のあり方など多岐にわたる課題や可能性の検討にわれわれは当面している。

求められているシステムの目標、規模、主体、手順、そして効果等に視点を置いて、諸事例の調査・研究を重ねてゆく。

なお、本部会は各月の第3水曜日、18:00~20:00

東洋経済新報社（日本橋）を予定しており、広く学会員の参加を期待している。

●会合案内

・第148回新宿OR研究会

日時：5月16日(火) 12:00~13:30

場所：レストラン・レグ（新宿センタービル53F）

テーマ：「Efficient Consumer Responseについて」

講師：村越稔弘（早稲田大学システム研）

参加費：3,000円

・第26回丸の内OR研究会

日時：5月10日(水) 18:30~21:00

(iv)

場 所: 学士会館 (神田錦町 3-28)
テーマ: 情報通信ネットワーク危機管理対策
講 師: 石川 宏 (NTT 理事 サービス生産本部ネットワーク部長)
参加費: 丸の内 OR 研究会会員 (無料)
 非会員 (3,000 円) 当日受付でお支払いください。但し参加については 1 週間前までにお問い合わせください。
問合せ先: トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生
 Tel.03(3457)6745

・1995 年「工学教育」連合講演会

日 時: 5 月 17 日(水) 9:30~16:30
場 所: 工学院大学新宿校舎 (新宿区西新宿 1-24-2)
 Tel.03(3342)1211

主 催: (社)日本工学教育協会
テーマ: 「21 世紀を主導できる技術者像とその育成のための教育改革」

プログラム:

9:30~9:35 開会挨拶 山田郁夫 (「工学教育」連合講演会実行委員会委員長)

9:35~9:45 文部省挨拶 文部省高等教育局専門教育課

9:45~11:45 欧米における教育改革の動向
 司会: 柴田順二
 「米国における工学教育改革の動向」

大中逸雄 (大阪大学工学部)

「世界の大学教育改革の歴史と国際比較ー工学教育改革への問題提起」

関 正夫 (広島大学大学教育研究センター)

13:00~14:00 基調講演 司会: 山田郁夫
 「ボーダレス時代の工学教育」

大橋秀雄 (工学院大学学長)

14:10~15:10 高校と企業から大学への要望
 司会: 伊藤 卓
 「高校教育の現状と変革ー大学への要望」

岡本武男 (攻玉社高等学校校長)

「企業内教育の変革と大学への要望」

石月言成 (株)コマツ・キャリア・クリエイト)

参加要領: 定 員 300 名

参加費: 主共催学協会会員 5,000 円, その他 7,000 円
申込先: (社)日本工学教育協会 (〒108 港区三田 3-5-21 三田アルスビル) 担当 青山
 Tel.03(5442)1021 Fax.03(5442)0241

●他学協会案内

・高等技術教育フォーラム'95「これからの産業構造の

展開と高等技術教育への要望」

主 催: 国立高等専門学校協会
共 催: 日本学術会議
日 時: 5 月 31 日(水) 9:30~17:00
場 所: 日本学術会議講堂 (港区六本木)
参加費: 無料
問合せ・申込先: 〒105 港区虎ノ門 1-1-17 梅原ビル 8 階 国立高等専門学校協会
 Tel.03(3580)2878 Fax.03(3580)3242

・第 14 回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス (協賛)

主 催: 日本シミュレーション学会
日 時: 6 月 21 日, 22 日
場 所: 東京工業大学 (目黒区大岡山)

問合せ先: 〒151 渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 日本科学技術連盟内 日本シミュレーション学会事務局
 (Tel.03(5379)1236, Fax.03(3225)1813)

・講習会「学習の理論と応用ーその現状と動向ー」(協賛)

主 催: 計測自動制御学会関西支部
日 時: 6 月 27 日 9:20~16:50
場 所: ホテルアウイーナ大阪 (大阪市天王寺区)
申込締切日: 5 月 31 日
問合せ・申込先: 〒530 大阪市北区西天満 6-8-7 日本電気計測器工業会内 計測自動制御学会関西支部 講習会係 Tel.06(316)1741 Fax.06(316)1751

●公募案内

・筑波大学社会工学系
募集人員: 講師 1 名
専門分野: 経営工学
応募資格: 原則として博士の学位を有し 35 歳未満の人。
採用予定: 1995 年 10 月 (予定)
応募締切: 1995 年 5 月末日
提出書類: 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷, 他詳細については問合せのこと。

問合せ先: 〒305 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学社会工学系 山本芳嗣
 Tel.0298(53)5001 Fax.0298(53)5070
 E-mail: yamamoto@shako.sk.tsukuba.ac.jp

・国立筑波技術短期大学電子情報学科
募集人員: 助手 1 名
専門分野: 情報・通信工学, コンピュータ科学, システム工学
応募資格: 修士以上の学位またはそれに相当する研究業績を有し, 聴覚障害者の教育に意欲を持つ方。

採用予定：1995年9月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切：1995年7月1日（消印有効）
 提出書類：履歴書，研究業績リスト，論文別刷，他詳細
 については問合せのこと。

問合せ先：つくば市天久保3-4-15 筑波技術短期大学
 電子情報学科 情報工学専攻 岡野 壽夫
 Tel.0298(58)9395 Fax.0298(58)9405

・電気通信普及財団平成7年度福祉文化事業援助

助成対象：電気通信を利用した福祉，文化事業，電気通
 信に関する学術交流および国際協力

受付期間：5月1日～5月31日（一部については9月
 30日まで）

問合せ先：〒105 港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビ
 ル5F 電気通信普及財団（Tel.03(3580)3411）

・電気通信普及財団平成7年度海外渡航旅費援助

助成対象：海外の学会で電気通信に関する研究発表を行
 なう研究者等

受付期間：各偶数月の1日（必着）までに翌月10日から
 1年先までの旅行について申込を受け付ける。

問合せ先：電気通信普及財団（上記参照）。

●新入会員

—正 会 員—

*池田善伸	01012620	富士ゼロックス(株) 生産統括部生産技術部
*緒方良江	01012616	福岡女子大学 家政学部家庭理学科
*小川真佐志	01012650	通商産業省 通商産業研究所政策情報システム部
*倉重賢治	01109135	岡山県立大学 情報工学部情報システム工学科
*柴田修	01206550	古河電気工業(株) 千葉事業所FA技術部
*柴田周	01206560	三菱マテリアル(株) 再処理施設建設センター建設部
*渋谷博巳	01206570	富士ゼロックス(株) 生産統括部生産技術部
*白木政	01206586	吉富製薬(株) 医薬研究本部技術情報室
*武田清	01307440	国際証券(株)
*得能貢一	01307475	鳥取大学 工学部社会開発システム工学科
*野中久典	01404760	(株)日立製作所 エネルギー研究所第1部
*白清学	01506432	新潟産業大学 経済学部
*林泰弘	01506440	茨城大学 工学部システム工学科
*原嶋秀次	01506450	(株)東芝 研究開発センターシステムソフトウェア 生産技術研究所開発第二部
*平山克己	01506424	住友金属工業(株) システムエンジニアリング事業本部情報通信研究開発部
*藤原本隆	01506461	北海道大学 工学部土木工学科交通工学講座
*松野輝夫	01605680	(株)日立情報ネットワーク システムエンジニアリング本部
*水野誠	01605690	(株)博報堂 研究開発センター
*山田均	01704146	三島光産(株) 事業支援部

—学生会員—

*上野慶子	02003850	日本女子大学
*大原久樹	02003870	東京工業大学 情報理工学研究科数理・計算科学専攻高橋幸雄研究室
*大場理子	02003860	日本女子大学
*岡田正美	02003880	日本女子大学
*小野正洋	02003890	早稲田大学 大学院理工学研究科工業経営学科大野研究室
*門脇志乃ぶ	02102520	日本女子大学
*河内正信	02102540	東京工業大学 情報理工学研究科数理・計算科学専攻高橋幸雄研究室
*嶋村哲	02202130	東京理科大学 理工学部経営工学科
*下田和裕	02202146	九州東海大学 大学院情報工学専攻
*谷村磨未子	02301980	日本女子大学
*吉永絵理	02701490	日本女子大学

—賛助会員—

*日本ナレッジインダストリ(株) 03400920 代表者 代表取締役社長 春日 正好
 連絡者 シンクファクトリ事業本部研究員 板垣 朝子

学会事務局創立記念日休業のお知らせ

5月23日(火)